

## 令和元年度 認定こども園評価 報告書

### 1. 本年度の重点目標

「しなやかな心と体で個性豊かに遊び込める子どもに」  
 元気いっぱい遊べる子 やりとげる子  
 考えて行動する子 待てる子  
 思いやりのある子 思いを言葉で表現できる子

- ①読み聞かせによる体験保育
- ②のびのびと体を動かして遊ぶ
- ③日本の伝統を大切にしながら、外国人先生にも親しみ、真の国際人を育てる
- ④アクティブラーニングの実践
- ⑤地域の方との交流（いきいき 100 歳体操）

### 2. 園評価項目

未満児 0.1.2 歳児 / 以上児 3.4.5 歳児

分野	評価項目	園自己評価 改善の方策 等	園関係者評価
保育方針	「しなやかな心と体で個性豊かに遊びこめる子どもに」を目標に各年齢に応じた計画をたて、元気いっぱい遊べる子、考えて行動する子、友達と仲良くできる子の育成に向けて努力する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新指導要領をふまえた新カリキュラムを作成し、全職員の研修を行ったので、共通理解も出来て努力が進んでいる。</li> <li>・子ども達の姿を見て、一人ひとりへの対応を考え実践しているが、今後は更に「気になる子」への特別対応を考えていきたい。</li> <li>・地域の「いきいき 100 歳体操」に、5 歳児が合同参加させていただくことになり、定期的に来園くださったので、よい交流ができた。</li> </ul>	<p>幼児それぞれの個性を大切にした保育をしてもらっている。幼児が自分で考えて行動に移せるように先生方がうまく対応してくださっている。</p> <p>家族以外と接する機会が少ない中で、地域の方と一緒に「いきいき 100 歳体操」はとても良い活動だと思う。</p>

職員について	<p>子どもの発達段階及び保育、教育のあり方を学び、子どもの心に寄り添い、成長を助けることや保護者との協同など、総合的に子どもの理解をめざす。特に未満児の場合は指導的立場の職員と経験不足の職員を同じ担当クラスに配置して、保育状況を目で見て理解し、指導力が向上するように配慮する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の教育、保育だけでなく、行事等の準備、片づけ等、保育の主體的な協力がとてもよく出来ている。</li> <li>・今後は、先輩の保育士が指導方法を向上させて、経験不足の職員への指導を今よりもっと充実させたい。</li> <li>・園内、園外の研修内容を、報告会を設けて発表し、全職員に広げていく。</li> <li>・未満児については、担当制を取り入れ、出来るだけ同じ職員が、同じ子どもの様子をよりしっかりと見られるように配慮する。</li> </ul>	<p>幼児の状態について情報がとても共有されていると感じるので安心感がある。</p> <p>行事については、限られた時間の中で、準備・運営・片付けまで全てを職員の方だけでスムーズに行われており、協力体制が素晴らしいと思う。</p>
園児について	<p>十分な保育や教育が出来るよう努力する。子ども達が毎日楽しみに登園できるよう、十分な声かけやスキンシップを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの特徴をとらえた教育、保育が出来ているが、今後は特別なかわりの必要な子に対して全職員での保育や、スキンシップを取り入れて実践していきたい。</li> </ul>	<p>登園時に会うすべての先生が声掛けをしてくれることが、朝の子ども達に元気を与えてくれていると感じる。</p> <p>未満児へのスキンシップもとても手厚いと感じる。</p>
施設・整備について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に遊具、施設設備の点検をして、安全面に注意をはらい、ケガのないようにする。</li> <li>・不審者侵入対策について、録画カメラの設置をしたり、開門時の立ち当番をおいたりして、心がけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時の出入りが多い時間帯は、係の職員が門のところで対応するようにしているが今後は更に気をつけていく。門扉を長時間あけていると、ドアロックが働いてしまい、開いたままになることがあるので、気をつけたい。</li> <li>・新しい遊具が増えたので、更に点検を広げる。</li> <li>・ホールの遊具の下に安全マットをひく。</li> <li>・「ヒヤリハット」を継続し、危機管理に努める。</li> <li>・インフルエンザ等が出ると、全職員に周知して、共に対応を考え、実践する。また、保護者にも掲示板で知らせている。</li> </ul>	<p>遊具が増え、幼児たちの活動に幅が出てきている。</p> <p>また、悪天候でも体を動かすことが出来て、とても良いと思う。</p> <p>門前や駐車場の防犯カメラは安心要素となっている。</p>

<p>保育内容について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本の読み聞かせにより、自然や動植物、物語等に興味を持つ子供を育てる。</li> <li>・保育内容は自分の思いを言葉で伝えられるようコミュニケーション能力を高める。</li> <li>・アクティブラーニングの取り組みや英語学習システム「サイバードリーム」を取り入れ、園児自らがすすんで楽しみながら、努力できる子どもに成長するように導く。</li> <li>・鉄棒、マット、跳び箱、のぼり棒等、走ったり、跳んだりすることを楽しんで挑戦できるように導く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一階ホール、二階ホールでの遊具を増やしたので、子ども達の運動力が高まってきた。今後は用具の置き換えをこまめにしていく。</li> <li>・読み聞かせを毎日行っているので、本の好きな子が増えてきている。</li> <li>・英語指導とサイバードリームを実施しているので、ネイティブな英語を話すことが出来るようになってきた。</li> <li>・サークルタイムの活用で、自分の考えを皆に話すことが多くなった。更に、考えを深めることが出来てきている。</li> <li>・図鑑を喜んで見ているので、興味が深まり、色々な知識も高まってきている。</li> <li>・絵画教室で思い思いの表現を楽しんでいる</li> </ul>	<p>皆の前で自分の意見を話す“サークルタイム”は子どもの自信につながり、とても良いと思う。</p> <p>周りの子の意見を聞くということも就学前のよい訓練になると感じる。</p> <p>“サイバードリーム”での英語も、絵本の読み聞かせも、日常のふとした時に、子どもの口からフレーズがでてくることがあり、体にしみこんでいるのを感じる。</p> <p>“絵画教室”は、様々な絵の表現の仕方を教えてもらい、子ども達はとても楽しんでいると思う。</p>
<p>預かり保育について</p>	<p>子どもの状態に応じて、慣らし保育や合同保育等、色々な対策を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢やその子の様子にしたがって、一時預かりの保育室か、合同保育かを決めている。</li> <li>更に、保護者の希望も取り入れていきたい。</li> <li>また、子育て相談も随時受けている。</li> </ul>	<p>地域の子育ての支えでもある「預かり保育」は今後も続けてもらいたい。</p>
<p>子育ての支援について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入所者以外の親子を対象とした「まちの子育てひろば」を開催している。親学をはじめとして、リズム遊びや読み聞かせ等、親子遊びの活動を通じて子育て中の親子が集える場を提供する。</li> <li>・園児の保護者には子育て学習会『親学』を年5回実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年懇談会を年1回、また、講演会や親学講座をおこなっている。更に今後も深めさせていきたい。</li> <li>・未満児については、連絡帳によって、保護者と園児の様子を共通理解し、共に配慮を行っている。</li> <li>・登園時、降園時に担任が保護者と連絡および相談を行っている。また、必要に応じて個別相談会を多く行っていきたい。</li> </ul>	<p>学年懇談会は、園での活動を知るための良い機会となっている。</p> <p>「親学」や講演会は、毎日あわただしく子育てしていると見逃しがちなことを学べる場である。</p> <p>これからも学べる場、相談できる場を提供してもらいたい。</p>

<p>給食等の実施状況について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食懇談会を行い看護師、栄養士、保育士を交えてアレルギー児対応や安全給食について学習会を行う。</li> <li>・給食試食会を開催し、保護者の意見を取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生日のメニューを園児本人の希望で決めているが、更に続けていきたい。</li> <li>・さらに手作りおやつの実践をはかる。</li> <li>・アレルギー児用の食器は別の種類にしているが、色付きの食器に変えて、さらにより区別しやすいものにする。</li> <li>・献立メニューの掲示を給食室前から、児童が見やすい場所へ移動して、より食への興味関心をもたせたい。</li> <li>・児童がよく目にする場所に、献立メニューの掲示をすることで、食への興味関心が深まり、食育につながっている。</li> </ul>	<p>アレルギー児は情報が周知され、安全に食事が出来る状況であると感じる。</p> <p>献立メニューの掲示は親子の会話のきっかけとなり、とても良いと思う。</p> <p>誕生日メニューは、子どもが楽しみにしており、素晴らしい行事だと思う。</p>
<p>保護者会等の活動状況について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児の保護者及び職員が一体となり、園と家庭との連絡を密にし、園児に対する正しい理解を深め幼児教育の向上を図る。</li> <li>・年に数回、参加型行事や参観の機会を設けて、本園の保育について理解をえたり、意見をうかがったりする。</li> <li>・問題を抱えている園児については必要に応じて相談会を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てが大変なお母さんを家族全員でサポートすることの大切さをプリント等で、お知らせすることが必要である。</li> <li>・問題を持つ子の相談会はよく行っているが、その後どうなったかの報告会が必要ではないだろうか。</li> <li>・行事等のあと、アンケートを実施し、今後の方針を考えていきたい。</li> </ul>	<p>先生方は送迎時に保護者の話をよく聞いてくださり、連絡は密にできていると思う。</p> <p>参観については、子ども達同志で遊んでいる姿や、先生と関わっている姿をもっと見ることができそうなプログラムであると嬉しい。</p> <p>行事後のアンケートはとても有効だと思うので、是非、実施してもらいたい。</p>

<p>登園・降園について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故防止の為、必ず保護者同伴を原則とし登園、降園時の安全に配慮する。</li> <li>・駐車場や道路での往来について、保護者へ注意をはらうよう依頼している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の安全面については、本年度、『交通安全教室』を実施して意識付けをした。</li> <li>・園内、道路、駐車場での保護者の立ち話について、注意を呼び掛けているが、まだまだ徹底できていないので、色々な方法を考えて今後も続けていきたい。</li> <li>・駐車場に新たな出口を作った方がいいかについて検討したい。</li> <li>・降園時間が一番多い夕方 17時から 18時まで、園外道路に立ち番を配置して事故のないように配慮している。</li> </ul>	<p>登園、降園の保護者のマナーはおおむね良いと感じるが、まだ、車のスピードの出しすぎ、子どもが手を離れて急に走り出す等の危険な場面も見受けられるので、保護者には注意喚起を継続してもらいたい。</p>
<p>園児募集について</p>	<p>見学者については、日時を設けて対応している。障がいのある幼児の入園相談もを行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学者に対しての対応は、今後も丁寧に行っていきたい。</li> </ul>	<p>見学について丁寧に対応して頂いていると感じる。素晴らしい特色がたくさんあるので、アピールして頂いてもらいたい。</p> <p>障がい児にも対応していただき、助かる親も多いと思う。</p>
<p>財務状況</p>	<p>公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。</p>		
<p>評価について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士の学年別研修を行い、年齢別の特徴と、必要な保育・教育を振り返り、学習をした。その結果、0歳～3歳までの個々の愛情あるかわりの大切さを痛感した。今後は未満児の保育に力を入れていきたい。</li> <li>・本年度は、保護者の立場にたって、考え、対応するように心がけた。今後も続けていきたい。</li> <li>・送迎時の安全に対する対策をした。 駐車場から園までの安全を考え、立ち当番をおいた。今後は、保護者の理解を深め、手を離さない、とか、立ち話をしない等の大切さをひろめていきたい。</li> </ul>		